

平成22年9月5日(日)

第2回「森林ボランティア養成講座」開催

9月5日(日)、今年度第2回目の「森林ボランティア養成講座」を雷別国有林及びパイロットフォレストで開催しました。今回は、「シードトラップ設置」、「森林セラピー体験」と題して実施しました。

「シードトラップ設置」では、ミズナラの種(ドングリ)の結実状況を確認し、種が実っている枝の直下にシードトラップ20枚を設置しました。これは、雷別地区自然再生事業では事業地周辺で採った種から苗木を育て、植栽し、元の森林に戻すこととしているため、苗木作り用の種の採取を行うものです。



ミズナラのドングリ



シードトラップの設置

午後からはパイロットフォレストに場所を移し、「森林セラピー体験」を行いました。講師には森林プロデューサーの山中氏を招き、『森林セラピーの歩き方』と題してパイロットフォレストの遊歩道を利用して行いました。普段行っている森林浴とは違い、かなりのスローペース歩きます。また、樹木などの説明もありません。周辺の樹木・草花を直接手で触れ感触を楽しんだり、香りをかぎながら森林セラピーを体験しました。



講師の山中氏と参加者



講師の山中氏と参加者

参加者の皆さんは、午前中は自然再生のお手伝いを行い、午後からは森林の楽しみ方を経験されたことと思います。次回は、10月31日(日)に雷別国有林で「種子の採取とキノコの観察会」を行う予定です。

(自然再生指導官 朝倉)



森の音や風景に一人静かに集中する参加者